

学校だより

始良市立永原小学校

令和5年8月21日発行

緑の風

児童数33名(特認生11名)
P戸数23戸

「みんなでつくろう 笑顔いっぱい」の 永原小学校

ピカソの絵と牧野博士の植物図

～ 二人の対象のとらえ方 ～

校長 高岡 和也

この夏休みに、徳島県にある「大塚国際美術館」と高知県にある「牧野植物園」に行ってきました。「大塚国際美術館」は、世界中の有名な絵画を1,000点以上選んで、実物と同じ大きさの陶板(タイルと同じように土を使って焼いた陶器の板)に特殊な技術で絵を焼き付けて再現して、「陶板名画」として展示してある美術館です。絵画だけでなく古代遺跡や、礼拝堂などの壁画を実際の大きさに空間まるごと再現した展示もあります。(※ 陶板画なので写真撮影もOKです。)



【窓辺に座る女】

多数の展示の中でも特に気になったのは、左の「窓辺に座る女」というピカソの絵でした。実物大の作品を間近で見ると、独特な表現に奇妙さを感じるものの、何か惹かれるものがあるのです。ピカソの独特な表現方法について調べてみると、次のようなことが書かれていました。

ピカソは、「キュビズム」と呼ばれる芸術動向の創始者とされます。キュビズムを簡単に説明すると3次元的なものの見方を2次元(絵)に落とし込んだ作品です。ですので、ある部分は正面から見たものだけど、ある部分は横から見たものといった感じで、ある対象を取り巻く空間を再構成して描いていることがわかります。



【システィーナ・ホール】
紅白歌合戦で米津玄師が歌った場所です。

『ある対象を取り巻く空間を再構成して描いている』といわれても… 私にはなかなか理解ができませんでした。

次に訪れたのは、今回の一番のお目当てであった「高知県立牧野植物園」です。現在放映中のNHK連続テレビ小説「らんまん」の主人公のモデルとなった、植物学者の牧野 富太郎 博士ゆかりの植物園です。園内には、「らんまん」で紹介された植物も含め、3,000種類以上の植物が四季を彩っています。

牧野博士が94年の生涯で収集した押し葉標本は、40万枚以上もあるのだそうです。そして、牧野博士は、自らが精巧な植物図を描くことに注力をしました。実際にその植物図を見て、その精巧さにびっくりしました。「植物図」というのは、ふつうの絵画と違って植物研究のために描かれる図のことで、植物の形や特徴といった情報を正しく伝えることを目的とした図のことだそうです。牧野博士の鋭い観察力と天性の技というべき表現技術(わずか1mmの幅に5

本も線が引かれている部分もあるそうです)を用いて描かれた植物図は、「牧野式植物図」と呼ばれ、花卉や葉、根、毛の状態など分類学に必要な形態を完全に描き出し、さらに、肉眼では見えない内部構造などを顕微鏡やルーペを用い観察した解剖図や、開花から結実に至るまでの生長や季節による変化までも描き、それらをバランスよく配置し、植物の特徴がひと目でわかるように工夫されているのだそうです。

「牧野式植物図」を見ながら頭に浮かんだの

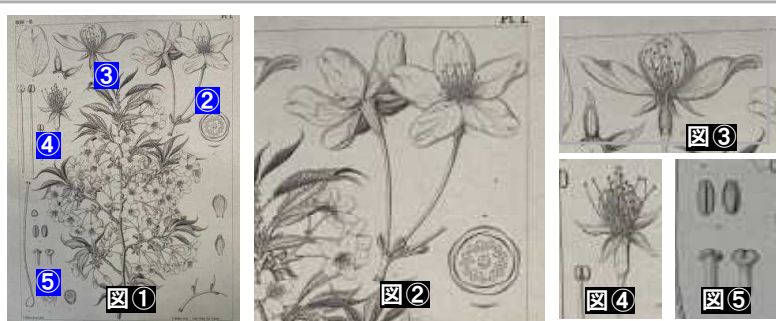
が、「大塚国際美術館」で見たピカソの絵のことでした。牧野博士は、「植物」を対象として、一枚の図の中に植物の肉眼で見える部分だけでなく、分類学に必要な部分の解剖図や生長や季節の変化までも描き、バランスよく配置して表現している。ああ、これこそ『ある対象を取り巻く空間を再構成して描く』ということではないのかと思いました。

ピカソも「人」という対象を、目に見えるものだけでなく、内面も含めた「取り巻く空間」というものを再構成して描き、絵画として表現したかったのではないかと考えると、ピカソの絵が少しは理解できたような気がしました。

牧野博士は1862年生まれで、図①のヤマザクラが、第一図版として掲載されている「大日本植物志」が刊行されたのが1900年です。ピカソは1881年生まれで、「キュビズム」の最初の作品といわれる「アビニョンの娘たち」を描いたのが1907年なのだそうです。

『もしかしたら、ピカソは「牧野式植物図」を見ていたのではないかと想像すると「ちむどんどん」しますね。

※「ヤマザクラ」と「バイカオウレン」の植物図をお土産に買いました。ご覧になりたい方がいらっしゃいましたら校長室へお越しください。



図① ヤマザクラ

図②～⑤は図①の一部分を拡大したもの

海 開 き

7/18(火)に重富海水浴場の海開きに行ってきました。4年ぶりの海開きにお招きいただき、全児童で参加することができました。

毎年海で泳いでいる子や初めて海で泳ぐ子など様々でしたが、みんな一足先に夏の海を楽しんでいました。ラジオ局や新聞社の方にインタビューをされ、海開きのことや学校のこと、桜島のことなどを答えていました。活動の様子は、ラジオや新聞で紹介されました。



国体に向けて

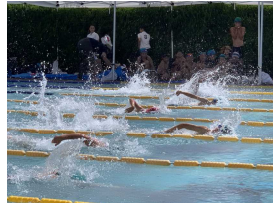
10月に「かごしま国体2023」が開催されます。その国体の一環として、「炬火リレー」が行われました。本校からも7名の児童が参加しました。200mという短い距離ではありましたが、太鼓踊りのリズムに合わせて走ることができました。



また、国体に向けて各都道府県を歓迎・応援するためののぼり旗の作成も行いました。本校は、徳島県と山口県を担当しました。方言でのコメントや名産の絵など工夫を凝らして作り上げることができました。

水泳記録会がんばりました

始良市水泳記録会が行われました。今年度は、久しぶりに5・6年生が参加できる記録会でした。授業や夏休みのプール開放で練習に励み、本番に臨みました。子供たちは、個人種目やリレーに出場し、大勢の前で緊張する中でも一生懸命泳ぎ切ることができました。本当によくがんばりました。



プール開放への御協力ありがとうございました

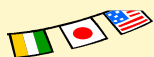
7月21日～28日の6日間、プール開放が行われました。子供たちの楽しみはもちろん、運動の場の確保や泳力向上のために、監視への御協力本当にありがとうございました。また、プール開放にあたり、保護者の皆様にプール掃除もしていただきありがとうございました。

大 盛 況 永 原 夏 祭 り

「永原夏祭り」が、永原校区コミュニティ、若衆会(わけし)の主催により行われました。今年もかき氷やトルネードポテト、クレープ、射的などお店が出店されました。

また、今回は子供神輿やドラム缶太鼓など、子供たちが中心になる催しもあり、会場は大いに盛り上がりました。最後は、恒例の花火が豪快に打ち上げられ、思い出に残る楽しい夏のイベントとなりました。

永原夏祭り・花火大会のおかげで、永原小学校や永原小学校区のアピールの場にもなりました。準備や運営をしてくださった皆様、本当にありがとうございました。



【9月の行事予定】



9月 1日(金)	2学期始業式(給食後下校)
4日(月)	いじめ問題を考える週間 (～9日)
13日(水)	3のつく日のあいさつ運動 運動会予行
14日(木)	運動会会場準備
17日(日)	第77回秋季運動会 第14回校区運動会
18日(月)	(祝)敬老の日
19日(火)	振替休日(運動会)
23日(土)	(祝)秋分の日
25日(月)	教育相談(児童)週間 (～29日)
29日(金)	中間服準備期間 (～10月9日)

秋季大運動会のお知らせ

日 時	9月17日(日)
	荒天の場合9月18日(月)に順延
入 場	8:55
開 会 式	9:00
昼 食	12:00～13:00
閉 会 式	14:40(予定)
後片付け	15:00～(終了まで)

たくさんの皆様の参加をお待ちしております。その他の詳細につきましては、別紙配布のプリントを御確認ください。